

〔No. 13〕

図 13 に模式的に示すように、水準点 A ～ D において、公共測量における 2 級水準測量を実施し、表 13 の観測結果を得た。環閉合差の許容範囲を $5\text{ mm}\sqrt{S}$ (S は観測距離, km 単位) としたとき、再測すべき路線として最も適当なものはどれか。次の 1 ～ 5 の中から選べ。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

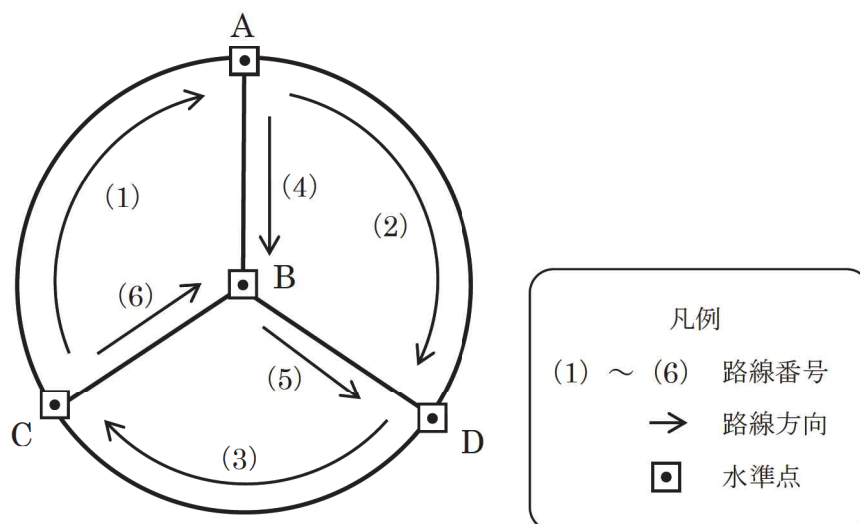


図 13

表 13

路線番号	観測高低差	観測距離
(1)	+3.429 m	2.00 km
(2)	−1.176 m	2.00 km
(3)	−2.257 m	2.00 km
(4)	−2.513 m	1.00 km
(5)	+1.362 m	1.00 km
(6)	+0.925 m	1.00 km

1. 路線 (1)
2. 路線 (2)
3. 路線 (3)
4. 路線 (4)
5. 路線 (5)